

Course number		U-LAS06 10002 LJ41					
Course title (and course title in English)		法学 Jurisprudence		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Law Professor,KAWAHAMA NOBORU	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2025・Second semester		Number of credits		2	
Days and periods		Mon.2		Target year		All students	
Eligible students		For all majors					
[Overview and purpose of the course]							
<p>法は社会生活のあらゆる領域を規律しているが、とりわけ企業活動は法的規律なしには成立し得ない。この講義では、法学を専門としない学生に対して、企業の組織とその活動がどのように法的に制御されているか説明することを通じて、現代社会における法の役割を理解できるようにする。さらに、今日の企業活動をめぐる最新の問題を取り上げ、問題への法的な対処方法を検討する。</p>							
[Course objectives]							
<p>企業活動の規律という側面から、法の目的と機能を理解し、特に現在直面している課題の性質を理解する。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>Zoomを利用してライブで授業を行う予定である。 基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし講義の進みぐあい等に対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。</p> <p>第1回 講義のアウトラインの説明 第2回 企業と取引 第3回 商品の流通 第4回 企業の組織 第5回 企業のグループ 第6回 投資と利殖 第7回 企業の失敗 第8回 法と国際関係 第9回 企業と責任 第10回 知的財産と企業 第11回 競争と独占1 第12回 競争と独占2 第13回 現在の課題1 第14回 現在の課題2 第15回 フィードバック（方法は別途連絡する。）</p>							
<div>-----</div> <div>Continue to 法学(2)</div>							

法学(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

レポート試験を実施し、これにより到達目標の達成度に基づき成績評価を行う。

[Textbooks]

適宜、授業前にレジュメ等を配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

龍田節・杉浦市郎『企業活動と法 第五判』（日本評論社）ISBN:9784535523432

その他の参考書は授業中に適宜紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

予習：初回の授業以降、次回の授業に向けての課題を授業時に指定する。

復習：教科書や配付した資料で知識を確認し、それらの知識を活用して授業で提起した問題点の解決策を考える。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィス・アワーとして特定の時間は設定していないが、希望があればメールでオフィス・アワーを調整する。なお、オフィス・アワーは可能であれば対面も考えるが、原則としてZOOM等によるものとする。

[Essential courses]